

平成23年2月21日

第10回地域経済・経営シンポジウム

「観光事業と地域振興」

広島大学大学院社会科学研究科マネジメント専攻および附属地域経済システム研究センターは、広島県と共催で、第10回地域経済・経営シンポジウム「観光事業と地域振興」を、下記のとおり開催しますのでお知らせします。

政府は、観光立国という新成長戦略を打ち出し、2020年に年間2500万人の外国人観光客を誘致することを目標としています。一方、各地方自治体も地域振興策の1つとして観光事業を推進しようと具体策を模索しています。しかし、観光資源の開発と利用、IT基盤に立脚した多言語による情報発信、そして観光事業専門人材の育成など、多くの課題を抱えるのが現状です。

シンポジウムでは、わが国における観光学の第一人者、石森秀三教授（北海道大学観光学高等研究センター長）の基調講演「観光立国時代における地域づくり～瀬戸内ツーリズムへの期待～」を行います。

またパネル討論では、大西健丞氏（NPOピースウィンズジャパン代表理事）、佐田尾信作氏（中国新聞文化部長）、後藤 昇氏（広島県総務局 海の道プロジェクト担当課長）をパネリストとして、上記の課題を踏まえ、観光事業と地域振興の関係とりわけ瀬戸内地域におけるその可能性をめぐって議論し、具体的な提言を試みます。

記

日 時：平成23年3月26日（土）13：30～16：00

場 所： 広島大学東千田キャンパス A棟302号室
（広島市中区東千田町1-1-89）

※参加費無料

【問い合わせ先】

大学院社会科学研究科
マネジメント専攻長 村松 潤一
TEL・FAX:082-542-7045

地域経済・経営シンポジウム パネル討論：観光事業と地域振興

政府は、観光立国という新成長戦略を打ち出し、2020年に年間2500万人の外国人観光客を誘致することを目標としている。一方、各地方自治体も地域振興策の1つとして観光事業を推進しようと具体策を模索している。しかし、観光資源の開発と利用、IT基盤に立脚した多言語による情報発信、そして観光事業専門人材の育成など、多くの課題を抱えているのが現状である。このシンポジウムでは、これらの課題を踏まえ、それぞれの分野の専門家を招き、観光事業と地域振興の関係、とりわけ瀬戸内地域におけるその可能性をめぐって議論し、具体的な提言を試みる。

＜基調講演＞ 「観光立国時代における地域づくり～瀬戸内ツーリズムへの期待～」
石森 秀三氏（北海道大学観光学高等研究センター長教授）

パネル討論
パネリスト
観光事業と地域振興
石森 秀三氏（北海道大学観光学高等研究センター長教授）
大西 健丞氏（NPO ピースウィンズジャパン代表理事）
佐田尾信作氏（中国新聞文化部長）
後藤 昇氏（広島県総務局 海の道プロジェクト担当課長）

コーディネーター 盧 濤（広島大学大学院社会科学研究科教授）

開催日時 2011年3月26日（土）13時半～16時
会場 広島大学東千田キャンパスA棟302号室（広島市中区東千田町1-1-89）
*ご参加の際は、大変申し訳ありませんが、電車・バス等の公共交通機関をご利用下さるようお願いいたします。
参加費 無料
主催 広島大学大学院社会科学研究科マネジメント専攻
広島大学大学院社会科学研究科附属地域経済システム研究センター
共催 広島県
後援 地域経済研究推進協議会
広島大学マネジメント学会

なお、次の予定で院生報告会を行います。併せて、ご参加下さい。

開催日時 平成23年3月26日（土）10時～12時
会場 上記302教室
お問い合わせ 広島大学大学院社会科学研究科マネジメント専攻長室（担当：植永）
電話&Fax：082-542-6980（火曜から土曜の10:15～17:15）